

ー誰でもわかる がん講座ー

第134回 治療と仕事の両立支援制度

「治療と仕事の両立支援制度」は、病気を抱えながら働く人を支えるために厚生労働省が整備した仕組みです。働く世代のがん患者が増える中、検査や手術で仕事を休む必要が生じたり、抗がん剤の副作用で今後の働き方に不安を抱える方が多くいます。従来は患者と職場で対応を相談していましたが、職場側が病気への理解や必要な配慮を判断できないことが課題でした。この制度では、主治医・企業・両立支援コーディネーターが連携し、治療を続けながら働けるよう支援します。職場提出用の診断書も、通常 4,400 円（自費）のところ、制度を利用した「主治医意見書」なら医療保険 3 割負担で初回 2,550 円、2 回目以降 1,500 円と負担が軽減されます。内容には病状や治療予定、就業継続の可否、業務上の配慮点などが含まれ、復職プラン作成にも役立ちます。当院には資格を持つ両立支援コーディネーターが在籍し、就労に関する相談を行っています。制度利用を検討される方は主治医またはがん相談支援センターへご相談ください。

がん相談支援センター 電話:0294-23-8730(直通:平日 8:30~16:30)

がん相談支援室 永山千明